

パナソニックグループの取り組み

建築デザインを引き出し くつろぎ感ある空間を醸し出す 「シンフォニーライティング」

高気密・高断熱やオール電化の普及、ライフスタイルの変化などから、間取りや空間デザインが変わってきている中、あかりも単に明るさの確保だけでなく、空間の表情を豊かにして住まいの価値を高める照明器具や照明手法が望まれています。パナソニックグループでは、建築とあかりの新たな可能性に向けたライティングテクノロジーとして、「一室複数灯で演出する「シンフォニーライティング」をご提案。設計段階から照明計画を織り込んだ、快適で豊かな空間づくりをおすすめしています。

一室複数灯の魅力なあかり空間で 住宅の価値を高める時代へ

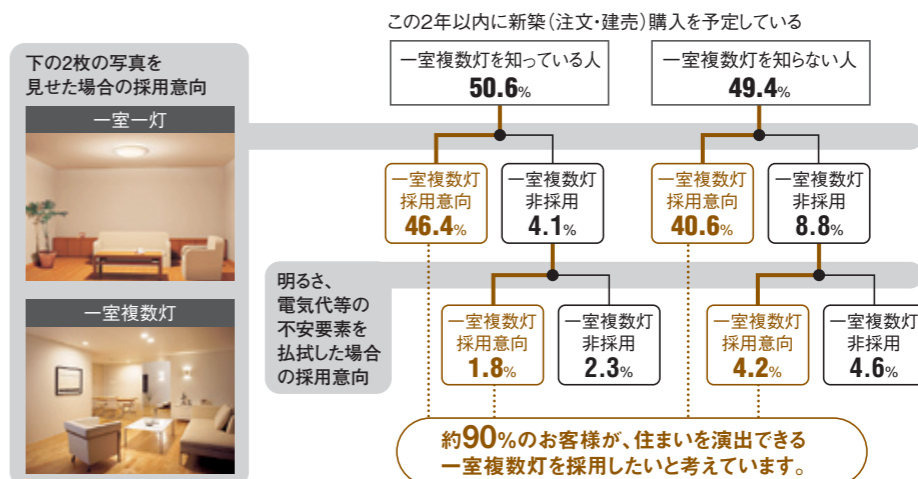
これまでの住空間はLDKの間取りが基本の設計でした。しかし、高気密・高断熱やオール電化により大空間や吹き抜けのあるデザイン性の高い一室空間の設計が広がってきました。また、ライフスタイルの変化により家族の気配が感じられる空間づくりが求められています。

出するユースタイルへの要望が強くなってきています。魅力的なあかり空間づくりで住宅の価値を高く演出でき、施主様の満足感を得る効果が大きいとの声もあります。

新築購入予定の90%の施主様が 一室複数灯を望まれています

新築予定の施主様のアンケートで二室二灯

と一室複数灯の空間イメージをお見せしたところ、約90%の方が、「一室複数灯を採用したいと考えている」(右下図)という結果が生まれました。これは、施主様の多くが、「一室複数灯の雰囲気あるあかりを志向していることを示しています。そこで、パナソニック電工では、「一室複数灯のあかりを当社ならではの照明器具とライティングノウハウで再構築し、「シンフォニーライティング」と名づけて打ち出しました。



2年以内に注文住宅、建売住宅の購入を予定しているお客様(n=1,080人)に対する一室複数灯の採用意向に関する調査(当社調べ)

パナソニック電工が提唱する 一室複数灯による あかり空間づくり

シンフォニーライティングでは、一室複数灯の手法を効果的に用い、くつろぎと楽しみに満ちたあかり空間を演出しながら、同時に優れた省エネも実現します。シンフォニーライティングの考え方の中心は、「適所適光」(＝あかりの組み合わせ)と「適時適照」(＝あかりの灯し方)の二つです。

「適所適光」＝あかりの組み合わせ 目的に合わせたあかりの配置が 上質で豊かな空間づくりのポイント

これまでの一室一灯で部屋全体を照らす単調なあかりから脱却して、空間の奥行きや開放感を醸し出したり、楽しい食卓を演出したりと目的に合わせてあかりを配置するのが「適所適光」です。

- ①リビングダイニングの適所適光は、「あかりだまり」をつくる
 - ②食卓は、料理がおいしく見える光の色や照明器具で演出する
 - ③壁や天井、吹き抜け空間を照らして、空間の奥行きや広がり感を醸し出す
 - ④目線より低い位置にあかりを配置して落ち着いた雰囲気をつくる
- これらのあかりの組み合わせで、今までと見違えるほどの豊かな空間ができます。

「適所適光」＝あかりの組み合わせ



3 壁・天井を照らす。
視線の行く壁や天井を明るく照らすことで、空間に広がり感や奥行き感をプラスできます。

1 リビングテーブルに「あかりだまり」をつくる。
人が集いなくなる雰囲気をつくり、「居場所」としての心地よさを演出します。

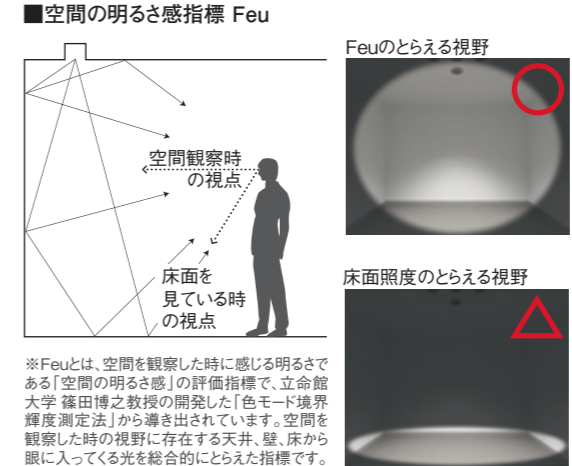
2 食卓に「あかりだまり」をつくる。
ダイニングテーブルを浮き立たせて、中心感をつくります。家族の気持ちも集まります。

4 低い位置にあかりをつくる。
あかりを下げれば、気持ちも落ち着きます。部屋のコーナー、ソファの後ろなどに。

MODIFYとHomeArchiを組み合わせでコーディネートしたLDK空間。

**空間の明るさ感指標「Feu」で
明るさ感を高め、省エネを実現**

一室複数灯はあかりを分散配置するため、「暗いのではないか？」と不安を持たれる方もおられます。当社では従来の照度設計だけでなく、人の空間観察時に視野に存在する天井、壁、床から眼に入ってくる光を総合的に捉えた指標「Feu」(※)の考え方を取り入れ、必要最小限の照明で空間の明るさ感を効果的に高めるプラン提案をします。



**生活スタイルに合った
あかりの組み合わせを提案**

あかりの組み合わせによって、空間のイメージもシンプルな空間から気品溢れる空間まで異なる演出ができます。シンフォニーライティングでは、アクセントとなる花のあかりを中心に、はなやかさや彩りを演出する「はなやかスタイル」と、建築化照明のように照明器具はできるだけ控えてあかりそのものが持つ機能や雰囲気を生かす「すっきりスタイル」の二つを基本に、生活スタイルやイメージに合ったあかりスタイルを提案しています。

**「適時適照」II あかりの灯し方
生活シーンに応じた灯し方で
魅力ある生活の演出と省エネを実現**

リビングダイニングでは、食事をする、くつろぐ、新聞を読む、テレビで映画鑑賞など、生活シーンに応じて明暗のメリハリをつけることにより、魅力ある演出ができます。こうした生活シーンに応じたあかりの灯し方が適時適照です。必要な時に必要な所だけあかりを灯すため、一室一灯よりも一室複数灯のほうが省エネになり、約10%も電気代を抑えることができます(下図参照)。

**「EVERLEDS」の採用で
更に省エネで電気代を削減**

シンフォニーライティングで、さらに省エネをはかるには「EVERLEDS」がおすすです。当社のLED照明「EVERLEDS」は、電球や蛍光灯に比べて大幅に省エネで、長寿命、熱・紫外線が少ないなどの特長があり、豊富な商品ラインナップで家まるごとLED照明のご提案もできます。

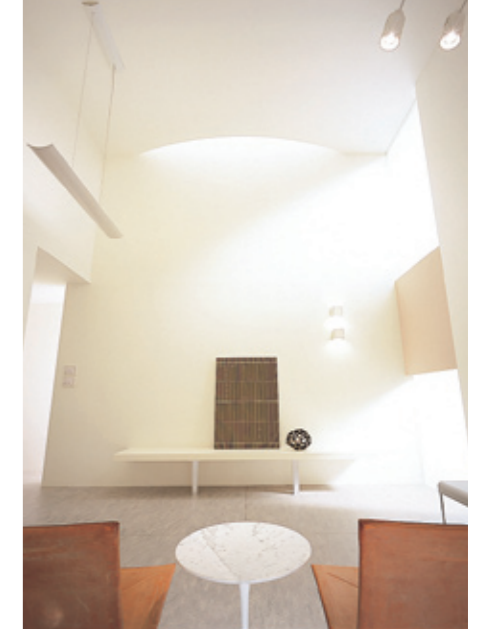
**施主様へのご提案にあかりプランや
ショールームの積極的なご活用を**

豊かな空間をつくるシンフォニーライティングは、建築設計段階の早い時期から配線計画や配灯を含めた照明計画をおすすめします。

**インテリアや暮らし方に合う
あかりスタイルの提案**



はなやかスタイル
浮遊感のある球体のペンダント(MODIFY)を、バランスよく配置し、アクセントにしている。



すっきりスタイル
器具デザインは、空間に溶け込むようにし、あかりのみで、吹き抜けの広さ・高さを引き出す。(HomeArchi)

全灯のあかり
あかりを随所に点在させて、はなやかで活気ある空間をつくります。シーリングライトなどの全般照明だけでは単調な照明になりがち。ブラケットやスタンドなどで空間をにぎやかな雰囲気にお客様をおもてなしする時のライティングにもおすす。

食事のあかり
ダイニングテーブルを明るくして、家族が寄り添う雰囲気をつくります。ペンダントで食事を明るく。リビング側にも光をほんのりと残すと「つながり」と「広がり」感が出ます。

だんらんのあかり
やわらかい光で明るくして、家族が心地よく集える空間をつくります。全体の明るさを壁のあかりで確保。ブラケットやフロアライトの光で、テレビ画面と壁の輝度差を少なくして、眼に優しい配慮を。



「適時適照」=あかりの灯し方

生活シーンに応じた必要なあかりの切り替えでその場に相応しい雰囲気の空間になる。



くつろぎのあかり
部分照明を中心とした陰影のある落ち着いた空間をつくります。スタンドなどで低い位置に穏やかな光を。ブラケットなど、アイポイントになるあかりを点けることで心地よい雰囲気に。

リビングライコン NQ28745W

「リビングライコン」を使用すれば、複数の照明をまとめて操作でき、暮らしのシーンに適したライティングに簡単に切り替えができるので優れた省エネ性にもつながります。

**■ シンフォニーライティングと一室一灯の
電気代の比較**

例えば、約14畳のリビングダイニングで…

【一室一灯】 ツインPa85形2灯を
年間約2,000時間100%点灯



年間電気代 約6,700円
年間CO₂排出量 約120kg

【シンフォニーライティング (一室複数灯)】 生活シーンにより、
照明を点滅調光



年間電気代 約6,060円
年間CO₂排出量 約107kg

あかりの
灯し方によって
約10%
省エネ!

CO₂排出量および電気代算出のための試算条件
●ツインPaは85形(明るさフリー10)、ダウンライトはバルックボールプレミアD15形、白熱灯はミニクリプトン電球60形(110V)スタンド・ペンダントは、白熱電球60形●年間約2,000時間点灯した場合を想定。●算出基準となるCO₂排出係数は0.39kg-CO₂/kWh●電力料金目安単価22円/kWh(税込)

※白熱灯を含んだプランの場合です。LED・蛍光灯を中心に用いれば、さらに省エネ度は上がります。



Lighting Image Select System
リビングダイニングの複数灯イメージを、いくつかのCG画像の中から探せる。あかりプラン申し込み時に活用可能。

- 詳しくは
- シンフォニーライティング
<http://denko.panasonic.biz/Ebox/symphonylighting/>
 - Lighting Image Select System
<http://denko.panasonic.biz/Ebox/liss/>
 - インターネットあかりプラン
<http://akariplan.panasonic-denko.co.jp/>
 - パナソニックリビングショールーム
<http://panasonic.jp/sumai/sr/>